

添付 1： 事業内容・事業効果に関する写真

作成日：2015 年 1 月 15 日

(ア) 高価値農産物の生産技術普及	
① 果樹・野菜栽培技術の普及	
	
栽培が進む人参。2月上旬頃から収穫が開始される予定。	発芽し、順調に生育するホウレン草。裨益住民にとって、初めての栽培となる。
	
椎茸栽培用の原木を高地エリアから担いで持参し、研修に参加するマガル族の住民。	住民は椎茸菌の植付け方法等、実践的な技術を学んだ。
	
2ハウスから収穫したトマトで、合計 60,000 ネパールルピーの売上を得たタマン族の住民。	連作障害を防ぐため、トマトハウス周辺に植えられたマリーゴールド。

②家畜飼育・ミルク生産技術の支援



ヤギ飼育管理を中心とした講義を受けるモデル農家、2ヶ所のエリアで開催し、合計 52 世帯が包括的な知識と技術を身に付けた。



シンズリ郡家畜サービス事務所獣医官と共同で開催した家畜ヘルスクャンプ、146 世帯が参加。

③マーケティング支援



土台建設が完了した、集荷・情報センター。



現地日本人会開催の盆踊りで、自ら栽培した有機野菜を販売する住民。



事業地を視察する GCI の関係者。



GCI のアウトレットで販売される事業地住民によって栽培された有機苦瓜。

(イ) 農業生産環境の保全と強化

①土壌保全技術の普及



タンクで採取した家畜の尿に現地に自生するハーブを漬けて込んで作成された有機農薬。



家畜の尿を用いた液肥や有機農薬により、害虫の被害を受けずに大きく成長したカリフラワー。

②小規模灌漑の設置



自然流下式小規模灌漑を設置した9区で乾期に栽培が開始された芥子菜。



9区で灌漑水を活用し、裨益住民が共同で栽培を進める野菜苗。



4区に整備した貯水池は雨期の雨水で満タンに。



貯水池の水を活用し、初めての試みとなるカリフラワー栽培を行う裨益住民。